

筑波大学学校教育論集

第45巻・第46巻合併号 令和6年3月

【第45巻】

原著論文

- 岡安 朋子 特別支援教育における多職種連携の研究の動向と課題
 飯田 順子 一日本国内の小・中学校および特別支援学校に焦点を当てて…………… 1

【第46巻】

実践報告

- 山田 一幸 肢体不自由生徒が安全に操作できるマイクロスケール実験の教材開発と
 荻野 和子 教育実践に関する研究…………… 11

- 建元 喜寿 高大接続科目としての海外フィールドワークの開発
 吉田 賢一 —インドネシアにおける「国際農業研修VII」を事例に— …… 23
 Arum Octavia Hadi Mulyono

- 秋山 肇 高大連携による議論を通じた平和教育のあり方：
 筑波大学における「平和と法」授業の実践を通して…………… 33

- プロジェクト研究…………… 50

- 筑波大学附属学校研究紀要総目次（令和5年）…………… 51

筑波大学附属学校教育局



筑波大学学校教育論集 編集規程

（平成29年7月7日
学校教育論集編集委員会決定）

1. 本誌は筑波大学附属学校教育局の機関紙であり、原則として年度に1回、3月31日に発行する。
2. 本誌の誌名は、「筑波大学学校教育論集（Research Bulletin for School Education）」とする。
3. 本誌の編集は、「学校教育論集編集委員会」が行う。
4. 編集委員会は教育長、編集委員長1名、編集委員（編集幹事）1名の3名で構成される。
5. 本誌への論文の掲載は審査員の審査を経て決定される。
6. 投稿された論文は、原則2名の審査員によって著者名、所属、謝辞等を伏した状態で審査される。
7. 審査員は、筑波大学附属学校教育局の教員1名、筑波大学に所属しない教員または、研究者1名を原則として、編集委員会委員長が委嘱する。
8. 審査員は、以下に示す項目について検討し、所定の様式により編集委員長に報告する。
 - (1) 研究の主題・方法の適切性
 - (2) 表現・表記の適切性
 - (3) 研究倫理の遵守に関する適切性
 - (4) 判定
 - (5) その他必要に応じた意見
9. 審査結果は、採択、修正採択、修正再審査、不採択に分けられる。修正再審査は、修正要件が満たされたうえで再投稿された後、改めて審査を行う。不採択は掲載が認められない。
10. 本誌には投稿された原著論文、実践報告、総説論文以外にプロジェクト研究の概要、筑波大学附属学校研究紀要総目次、その他必要と認める内容を掲載する。
11. 本誌の巻数は「筑波大学学校教育部紀要」の巻数を踏襲するものとする。

附 則

本規程は、「筑波大学学校教育論集審査内規」および「筑波大学学校教育論集要項」を加筆修正したものである。本規程は第40巻から適用する。

本誌は、1979年（昭和54年）3月発刊の第1巻から1993年3月の第15巻まで、毎年1巻ずつ発刊された「筑波大学学校教育部紀要」を「筑波大学学校教育論集」と改題したものである。巻号はそのまま引き継ぎ、本冊で第44巻となる（新誌名では第28巻）。

○筑波大学学校教育論集 投稿規程

（ 改正 令和 6 年 1 月 30 日 ）
（ 学校教育論集編集委員会決定 ）

1. 本誌に掲載される論文は、主として附属学校教育局において行われた研究に関連する未公開の論文とする。
2. 投稿者は、研究全般の手続きにおいて研究倫理について十分に配慮すること。
3. 投稿論文は原著論文、実践報告および総説論文とする。
4. 論文の投稿にあたり、著者のうち1名が附属学校教育局もしくは附属学校の教員であることを要する。ただし、学校教育論集編集委員会が審査の上、特に認めた場合はこの限りではない。
5. 論文は、刷り上がり15頁以内を原則とする。
6. 投稿の際には、論文原稿を3部用意する。論文原稿の構成は以下のとおりとする。
 - (1) 表紙（論文題（日本語・英語））
 - (2) 本文（A4横書きで24字×45行 余白を3cm以上、刷り上がり2段組みの1段にあたる。引用文献含む）
 - (3) 図表（図表は1枚につき1ページを使用し、表はTab.1から図はFig.1から順に通し番号を付ける。本文中の余白に挿入箇所を指定し、重複は極力避けること。）
 - (4) 和文要約（500字程度、5つ以内のキーワードを付ける）
 - (5) 英文要約（175語程度、5つ以内のkeywordsを付ける）
 - (6) 資料、脚注、謝辞（必要な場合のみ）
7. 引用文献については、以下の例を参考にして記載する。
 - (1) 本文中の引用の仕方
 - ア 著者が1の場合
永浜（2012）は…、Barclay（2000）は、
 - イ 著者が2名の場合：日本語は「・」英語は「&」で区切る
藤嶋・細谷（2016）は…、Vallerand & Bissonnette（1992）は
 - ウ 著者が3名以上の場合、冒頭2名のみ初出から記載し、それ以降の著者は日本語では「～ら」、英語では「et al.」と記載する
小島・下山ら（2016）は…、Kojima, Shimoyama, et al.（2016）は…
 - (2) 文献リストの記載方法
文献リストへの記載は、以下の例を参考にして記載する。
 - ア 学術論文
安井友康（2004）. 車いすバスケットボールの交流体験が障害のイメージに与える影響 障害者スポーツ科学, 2（1）, 25-30.
Vallerand, R. J., & Bissonnette, R. (1992). Intrinsic, extrinsic, and amotivational styles as predictors of behavior: A prospective study. *Journal of Personality*, 60, 599-620.
 - イ 書籍
能田伸彦・中島健三（1991）. 新・算数指導事例講座 9 数量関係 金子書房
Deci, E. L., & Ryan, R. M. (1985). *Intrinsic motivation and self-determination in human behavior*. New York: Plenum Press.
 - ウ 書籍の特定の章
長谷秀揮（2003）. 暴力・虐待 祐宗省三（編著）ウェルビーイングの発達学（pp.91-96）北大路書房
Barclay, L. (2000). Autonomy and the social self. In C. Mackenzie & N. Stoljar (Eds.), *Relational autonomy: Feminist perspectives on autonomy, agency, and the social self* (pp.52-71). New York: Oxford University Press.
 - エ 翻訳書
Brooker, D. (2007). *Person-centered dementia care: Making services better*. London, UK: Jessica

Kingsley Publishers.

（ブロッカー，D. 水野裕（監修）村田康子・鈴木みずえ・中村裕子・内田達二（訳）（2010）. VIPS で
すすめるパーソン・センタード・ケア かもがわ出版）

オ Web 上の資料

内閣府（2009）. 障害を理由とする差別等に関する意識調査

<http://www8.cao.go.jp/shougai/suishin/tyosa/h21ishiki/pdf/kekka.pdf> (2017 年6 月13 日閲覧)

United Nations (2015). Transforming our world: The 2030 Agenda for Sustainable Development.

Retrieved from <https://sustainabledevelopment.un.org/post2015>

/transformingourworld (June 15, 2017).

8. 投稿論文は常用漢字，現代かなづかいを用い，簡潔・明瞭に記述する。カタカナは原則として日本語となっている外国語（例：インクルーシブ）を記述するときのみに用い，全角カタカナで記載すること。
9. 英文は十分に熟達した人によるか，その校閲を経ていること。本文中の外国語の使用においては，外国語文献の著者や人名，日本語の定訳のない語句，書籍やテスト名のみに用いること。
10. 数字は原則として半角の算用数字を用いること。
11. 投稿に際しては，以上の論文3部に併せて，論文の内容を記録したメディア（CD-R，USBメモリ等）と連絡票（論文題（日本語），全著者名と所属，代表者の連絡先を記載）を提出すること。
12. 本規程に記載のない事項については，投稿者の専門分野における標準的な記載方法に準じて記載すること。

附 則

この規程は，令和6年1月30日から施行し，改正後の第4項の規定は，令和5年12月15日から適用する。

筑波大学学校教育論集 第45巻・第46巻合併号編集委員会

教育長 呑海沙織

委員長 飯田順子

委員 田中裕子

第45巻・第46巻合併号の編集に際して、以下の諸氏の協力を得ました。記して感謝申し上げます（敬称略）
菅野和恵（東海大学）・青山郁子（都留文科大学）・松本末男（筑波大学）・島田直子（秀明大学）
荒井穂菜美（東京大学）・久保尊洋（横浜国立大学）

筑波大学学校教育論集第45巻・第46巻合併号
[ISSN 2759-3584]
Research Bulletin for School Education 45・46
発行年月日 令和6年（2024年）3月31日
発行者 〒112-0012 東京都文京区大塚3-29-1
筑波大学附属学校教育局
連絡先 編集委員長 飯田順子
TEL：03-3942-6805
組版 スマートゲート

〈非売品〉

Research Bulletin for School Education

CONTENTS

Original Articles

- Trends and Issues in Research on Multidisciplinary Collaboration in Special Needs Education:
Focusing on Elementary, Junior High Schools and Special Needs Schools in Japan
..... Tomoko Okayasu, Junko Iida (1)

Practical Report

- Development and Educational Practice of Microscale Experiment Teaching Materials for Physically
Disabled Students for Safe Operation Kazuyuki Yamada, Kazuko Ogino (11)

- The development of overseas fieldwork as a high school-university connection subject
-International Agricultural Training VII in Indonesia
..... Yoshikazu Tatemoto, Kenichi Yoshida, Arum Octavia Hadi Mulyono (23)

- Peace Education through Discussion by High School - University Collaboration:
Practice of "Peace and Law" Class at the University of Tsukuba Hajime Akiyama (33)

Report

- Research project (50)
- Contents of Bulletin of laboratory schools, university of Tsukuba (51)

Published by

Education Bureau of the Laboratory
Schools, University of Tsukuba